



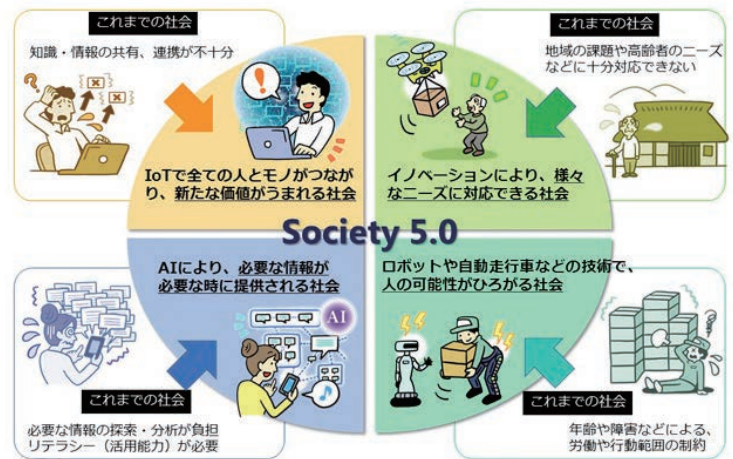
2019年3月1日発行  
1916年5月1日創刊  
発行/小川 健一郎  
編集/大阪 YMCA 広報室  
〒550-0001  
大阪市西区土佐堀 1-5-6  
Tel 06-6441-0894  
Fax 06-6445-0297  
URL: <http://www.osakaymca.or.jp>

# YMCA 大阪青年 3

## 求められるYMCAの教育力 —Society 5.0の時代へ向かう中で—



学校法人 大阪YMCA  
理事長  
すえ おか よしひろ  
末岡 祥弘



内閣府ホームページより引用

私たちは今、狩猟社会(Society 1.0)→農耕社会(Society 2.0)→工業社会(Society 3.0)→情報社会(Society 4.0)を経て、全く新しい超スマート社会(Society 5.0) (\*1)と呼ばれる社会に入ろうとしています。そこでは、ビッグデータ、人工知能(AI)、Internet of Things (IoT)、ロボット等の先端技術が日常生活や経済活動に取り入れられ、サイバー(仮想)空間とフィジカル(現実)空間を高度に融合させたシステムにより、社会のあり様は劇的に変わるといわれています。

誰もが経験したことがない変化には不安が付きまといます。

- 子どもたちが経験する新しい社会では、ロボットやAIが人間の仕事を奪うのでは？
- 新しい技術を使える人と使えない人の間で大きな格差が出てくるのでは？
- 人と人が繋がって生きる、一緒に生きるというのは古い時代のことなのか？
- 人間しかできないことって何なのか。仕事や学びにどう向き合っていけばよいのか？

これらに対して“Society 5.0に向けた人

材育成に係る大臣懇談会及タスクフォース” (\*2)は次のように提言しています。

「Society 5.0 において我々が経験する変化は、これまでの延長線上にない劇的な変化であるが、その中で人間らしく豊かに生きていくために必要な力は、これまで誰も見たことのない特殊な能力では決してない。むしろ、どのような時代の変化を迎えるとしても、知識・技能、思考力・判断力・表現力をベースとして、言葉や文化、時間や場所を超えながらも自己の主体性を軸にした学びに向かう一人一人の能力や人間性が問われることになる。特に共通して求められる力として、(1)文章や情報を正確に読み解き、対話する力、(2)科学的に思考・吟味し活用する力、(3)価値を見つけ生み出す感性と力、好奇心・探求力が必要である」

YMCAは創立以来175年の歴史の中で、いつの時代も、人間性を一面的な知識・技能にのみ偏らせることなく、全面的、調和的に発展させることを目的として「精神spirit」「知性mind」「身体body」の三つが調和した全人的な人間の育成を目指してきました。この人間

理解の上に人と人を繋げ、グローバルなネットワークの中で青少年を育ててきた実践がYMCAの教育力と言えます。

この4月から日本で初めての試みである公設民営の中高一貫校 大阪市立水都国際中学校、高等学校の管理運営が学校法人大阪YMCAにより行われます。そこでは新しくなった学習指導要領に基づき、これまで培われてきたYMCAの教育力を活かしながら、英語教育・国際理解教育・課題探究型授業を柱とした、Society 5.0の社会で生きていく子どもたちに応える新しい教育が展開されることとなります。

新しい時代、新しい人を育む、新しいチャレンジに、皆様の一層のご支援をいただきますようお願いいたします。

\*1 第5期科学技術基本計画において目指すべき未来社会の姿として提唱  
\*2 Society 5.0に向けた人材育成に係る大臣懇談会、新たな時代を豊かに生きる力の育成に関する省内タスクフォース 提言書 (文部科学省 2018.6.5)

### ■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭・地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境・人権・貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

# 大阪市立水都国際中学校・高等学校 まもなく開校!



学校法人大阪YMCA 水都国際中学校・高等学校開設準備室 室長補佐 **上床 敦**

大阪市立水都国際中学校・高等学校は国家戦略特区法に基づき全国で初めて「公設民営(公立学校の管理運営を民間法人が行うこと)」の手法で大阪市が設置し、学校法人大阪YMCAが運営する公立の中高一貫校で、2019年4月に大阪市住之江区に開校します。

学校の3つの特徴として、①英語教育に重点を置いた教育活動、②自国の伝統や文化に根ざした国際理解教育、③自ら課題を発見し解決することを目的とした課題探究型授業があります。

中学校・高等学校ともに、英語、数学、理科を外国人教員が英語で教えることを基本とし、全体の教員の4割弱が外国人教員となります。

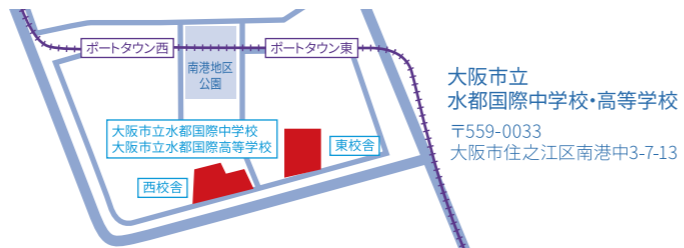
高等学校はグローバル探究科という専門科をもつ学校になり、2年次から、グローバルコミュニケーションコース、グローバルサイエンスコース、国際バカロレアコース(2020年度開設予定)が選択できる予定です。生徒は興味や将来の希望に合わせて科目を選ぶことができ、将来に向けた準備をすることができます。



国際バカロレア(IB)とは、スイス・ジュネーブに本部をおく国際バカロレア機構(IBO)が認定する国際的な教育プログラムで、大阪市立水都国際高等学校の「国際バカロレアコース」では高校2、3年次に16歳~19歳を対象としたディプロマ・プログラム(日本語 DP※1)を実施する予定です。

国際バカロレアには10の学習者像(思いやりのある人、心を開く人、挑戦する人など)という目指すべき理念があります。この国際バカロレアの理念と、1844年にイギリスのロンドンで発祥したときから青年を育てることやYouth Empowermentを主要なテーマとして活動してきたYMCAの理念には、高い親和性があります。

これらのことを踏まえ、水都国際中学校・高等学校では世界120の国と地域で6500万人の人たちが関わっているYMCAのノウハウとネットワークを活かした教育活動と学校運営を行います。卒業後は海外大学や国内大学など、様々な選択肢から自分の進路を決めることができます。



大阪市立水都国際中学校・高等学校  
〒559-0033  
大阪市住之江区南港中3-7-13

※1 国際バカロレア(IB:International Baccalaureate)は、1968年、チャレンジに満ちた総合的な教育プログラムとして、世界の複雑さを理解して、そのことに対処できる生徒を育成し、生徒に対し、未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けさせるとともに、国際的に通用する大学入学資格(国際バカロレア資格)を与え、大学進学へのルートを確認することを目的として設置。現在、認定校に対する共通カリキュラムの作成や、世界共通の国際バカロレア試験、国際バカロレア資格の授与等を実施。(文部科学省HPより)

# 第6回全国海洋教育サミット参加報告 ~持続可能な社会の創り手の育成を目指して~



YMCA総合研究所 主席研究員 **内山 雅文**

第6回全国海洋教育サミットが「海洋教育のこれまでとこれから」というテーマで2月9日(土)に東京大学安田講堂で開催され、YMCA学院高校とYMCA阿南国際海洋センターが発表参加しました。

YMCA学院高校は、笹川平和財団2018年度海洋教育パイオニアスクール単元開発部門に採択された「海洋体験~地球温暖化による海洋環境変化と生命の育みについて学ぶ~」について、1年間の様々な研究・実験・体験学習に関する報告を、2年次の藤本菜耶さんと春日夢さんがポスター発表を行いました。

YMCA阿南国際海洋センターは、東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センター2018年度「海の学び・生涯学習プロジェクト」に採択された「阿南の子どもを阿南で育てるプロジェクト」についての実践報告と、YMCA阿南国際海洋センターが海洋教育を普及させるため 1.海洋学習環境の整備 2.外部支援体制の充実 3.担い手となる人材育成支援 4.研究フィールドとしての新しい活用方法についての提案を菅田斉所長が行いました。

人類の生存基盤である海、公共財としての海で展開される海洋教育は、これからますます「持続可能な社会の創り手」の育成に繋がることが期待されます。



大阪YMCA会館  
1階ロビーにて展示中

# 世界のYMCAと共に学ぶ ~アジア・太平洋YMCA同盟スタッフ研修~



YMCA阿南国際海洋センター 所長 **菅田 斉**

YMCAの新しい仲間とのつながりが生まれ、社会がよくなっていくための力を得る機会となりました。



プログラムの参加者たちと(左から2番目が筆者)

2018年11月4日(日)から12月1日(土)まで、アジア・太平洋YMCA同盟スタッフ研修「第36回アドバンススタディープログラム」に参加しました。7か国・地域から14名が集い、共通の社会課題をよりグローバル視点で認識することや、YMCAミッションに基づく運動がその課題にどのように向き合い取り組むことができるかについて学び、互いの考えを共有することができました。

YMCAが取り組む課題は、その国々により異なります。貧困・子どもの教育・ジェンダー・環境問題など、日本とは状況や意識の異なる仲間と共に学ぶことにより、視点の違いに気づかされ、またそれらの課題を自分事としてとらえ、グローバルな視点に立って考えることの大切さと難しさを実感しました。

この研修に参加した一人ひとりが、自分のやるべきことを見つけ、

# Uneath Cambodiaに参加して ~ビクトリアYMCA主催プロジェクト~



大阪YMCA英語幼児園土佐堀園 スタッフ **沼田 絵里香**

1月5日(土)から16日(水)まで、オーストラリア・ビクトリアYMCA主催のプロジェクトUneath Cambodiaに参加しました。シエムリアップ、プノンペン、シアヌークビルの三都市を周り、ボランティア活動を通して交流や文化体験をし、世界遺産や地元の人が生活している街を訪れて、カンボジアの歴史を学習しました。今回、カンボジアという国が辿ってきた歴史を知り、それが現在の人々の暮らしに直結していることも知りました。

ビクトリアYMCAやカンボジアYMCAの仲間と交わり意見を交換しな

がら、私たちができることには「ボランティア」という一言では言い切れないものがあると感じました。その街で食事をすることや現地の宿泊地に泊まること、現地の人にガイドしてもらうことなどが現地の人の「仕事を生む」ことに直結し、助けになるということを目の当たりにしました。また、活動を通して、現地の人、一緒に活動したYMCAの仲間から溢れる優しさを感じ、利害を考えず相手を大切に思う喜びを学んだことで、私がこれからYMCAの一員として自分の周りの仲間を大切にしていきたいと強く思う12日間となりました。



プノンペンのトイレのない家庭で、1日半かけてレンガを積み上げて個室トイレを作るボランティアをしました。(前列右端が筆者)

# 国際専門学校学生、 最優秀賞(文部科学大臣賞)受賞! ~全国専門学校英語スピーチコンテスト~



2018年12月10日(月)、東京の中央区立日本橋公会堂にて開催された「第36回全国専門学校英語スピーチコンテスト」に、大阪YMCA国際専門学校の代表としてアヒヤエウドブシヨフさん(国際ビジネス学科2年・タジキスタン出身・写真左)が出場し、全国から集まった19名の出場者の中から、「最優秀賞(文部科学大臣賞)」に選ばれました。これは昨年の同大会に出場したヴァレンシーさん(写真右)に続き、本校の学生による二年連続受賞の快挙です。





## 足底接地

～食事中、足は床についていますか？～

やまなか じゅんこ  
YMCAとさぼり保育園 スタッフ 山中 淳子

何気ない毎日の食事。何気ない食べる時の姿勢。食事中、あなたの足は床にきちんとついてますか。大人である私たちはほとんどが床についていると思いますが、乳幼児期は成長過程であることや大人と同じテーブルを利用することなど、様々な理由により足が床につかず、ぶらぶらした状態で食事をしていることがよくあります。また、乳幼児栄養調査では年々噛めない子どもの割合が増加傾向にあり、この噛めない原因の1つに食事中に足が床についていないこと、つまり「足底接地」ができていないことが挙げられます。

食べ物を口に入れ、咀嚼する時に発生する噛む力は足元で支えています。この支える場を作ることが、噛むことに繋がるのです。足が床についていないというだけで、噛む力は20%減り、噛む回数においては75%も減るとわれています。このように噛むという行為は口の中だけではなく、姿勢と密接な関係にあります。

乳幼児期は身長差が大きいので、複数人で同じテーブルを囲む時には注意が必要です。とさぼり保育園では、幼児クラスには高さの違うテーブルや椅子を用意し、それでも調整が必要な時には牛乳パックで作った足台を使っています。牛乳パックの中に潰した牛乳パックを隙間なく詰めていき、それを複数個つなげてガムテープで固定したものです。軽過ぎると子どもが無意識に蹴飛ばしてしまうので、ある程度の重みが必要です。ご家庭では、空き箱に紐をつけて直接椅子と結びつけたり、古新聞などを積み上げたものでも良いと思います。

乳幼児期の食べる姿勢は今後の歯並びや噛む力にも影響してくるので、幼い頃から正しい姿勢を身につけて欲しいと思います。



## 大阪YMCA早天祈祷会

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAの様々な場で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かちあう恵みの時としています。

■第311回 日 時...2019年3月15日(金) 7:30~8:30

証 し...ふじおか ひろき 藤岡 宏樹さん  
(大阪YMCA英語幼児園 園長)

場 所...大阪YMCA会館 10階 チャペル

問合せ... 大阪YMCA 統括本部 総務  
TEL:06-6441-0894  
E-mail:info@osakaymca.org

## 2019年夏休み YMCAカナダキャンプのお知らせ



大阪YMCAウエルネス事業部では、2019年の夏に小中学生がカナダでアウトドアアクティビティやホームステイ等ができるプログラムを実施します。教室を飛び出して、生きた英語で様々な学びを体験してみてください。



日程：2019年7月27日(土)～8月10日(土)

場所：カナダ バンクーバー・トリニティウエスタン大学

対象：小学4年生～中学3年生(10歳～15歳)

内容：アウトドアアクティビティ、ホームステイ

費用：48万円(予定)

以下の日程で説明会を行います。

① 2019年4月13日(土)15:30～

② 2019年4月17日(水)16:30～

会場：大阪南YMCA



説明会へ参加ご希望の方は、以下のGoogle Formより事前にお申し込みください。

<https://goo.gl/forms/3gkxjmacGBWt6Ksx2>

## 会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2019年1月度報告・敬称略

### 【新規会員】

井藤泉  
大坪咲穂  
岡本 桃佳  
久保みのり  
後藤 帆花  
児浪 莉子  
杉野 真優  
田中 優梨恵  
鶴村 友紀  
中井 文音  
永井 美聡  
中村 甲斐  
中村 楓  
永山 佳奈  
山口 美紀  
吉岡 なつみ

### 【継続会員】

井内 陸斗  
池田 俊一郎  
石井 萌  
乾 涼香  
宇都宮 垂穂  
岡田 美奈子  
岡田 里佳子  
沖野 千咲都  
奥野 孝昭  
加志 勉  
加藤 明宏  
加藤 寅尾  
嘉藤 美希  
金谷 美穂  
川本 博信  
北野 優  
阪口 千穂  
佐川 隆二  
志田 育夫  
清水 汎

卜田 真一郎  
條 イサヨ  
神社 洋一  
菅 秀晃  
鈴木 良洋  
高橋 日菜子  
田川 加奈子  
谷川 寛  
土居 健志郎  
戸ノ本 千紗  
中尾 ひかり  
中村 友紀  
梨子田 次朗  
野間田 佳奈  
橋本 和子  
長谷部 一義  
畠平 雅生  
花本 茜  
福本 航  
伏見 茉琴  
松原 由佳

真鍋 佑介  
三浦 明  
森 公輔  
山口 彩華  
山崎 亮輝  
湯川 真生  
和田 遥香  
渡辺 貴子

### 【継続賛助会員】

紀伊産業株式会社  
共栄社化学株式会社  
株式会社創元社  
朝陽電気株式会社

大阪YMCAのホームページで  
その他の情報をご覧ください。

